

令和2年 病害虫防除指導情報 第14号

作物名：スイートコーン、飼料用トウモロコシなど

病害虫名：ツマジロクサヨトウ

疑わしい虫を発見した場合は、病害虫防除所にお問合せください。

1. ツマジロクサヨトウの発生状況

- (1) 令和2年7月30日に県内6地点に設置したフェロモントラップのうち津軽地域1地点で、本種と疑われる成虫が誘殺された。農林水産省横浜植物防疫所に同定を依頼した結果、本日、ツマジロクサヨトウ雄成虫であることが確認された。

なお、本種については、フェロモントラップ調査のほか、5月から県内各地域のスイートコーン、イネ科飼料作物（飼料用トウモロコシ等）のほ場において幼虫の発生状況を調査しているが、現在まで発生は認められていない。

2. ツマジロクサヨトウの形態及び生態的特徴

- (1) 成虫は開張約37mm、雌雄で外観が大きく異なり、雄のみが前翅に淡色斑と白斑を持つ。終齢幼虫は体長約40mmで、頭部の複眼と前額の境界にみられる逆Y字状の模様および尾部の斑点が特徴である（図1、3）。卵は寄主植物に塊状に産み付けられ、雌の体毛で覆われる。
- (2) 幼虫が寄主作物の葉、茎を食害する（図2）。若齢幼虫は葉を裏側から集団で加害し、成長すると加害しながら分散する。
- (3) これまでのところ、国内で発生が確認された農作物はイネ科作物（飼料用トウモロコシ、スイートコーン、ソルガム、サトウキビ等）及びしょうがである。

※詳細については農林水産省「ツマジロクサヨトウに関する情報」を参照。

(URL:http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)

3. 今後の対策等

- (1) ほ場をよく見回り幼虫の早期発見に努める。
- (2) 頭部の模様などを確認し、疑わしい幼虫が確認された場合は、速やかに病害虫防除所（電話：017-729-1717）まで連絡する。



図1 ツマジロクサヨトウ幼虫



図2 幼虫の食害



図3 頭部の逆Y字状の模様

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：山本晋玄